日之出建材 株式会社
DX宣言書

2026年10月28日
日之出建材 株式会社
代表取締役 兒玉 朋弘

❑ 経営理念

地域の皆様との信頼関係を構築し、丁寧で誠実な仕事を徹底することで、地域社会の発展に貢献する

❑ DXビジョン（2～3年後にありたい姿）

データとデジタル技術を活用して現場・事務・経営をつなぎ、業務負担の軽減と生産性の向上を図ることで、持続的に成長できる組織を目指します

❑ DX戦略・施策

➢ フェーズ1（現在 ～ 2027年12月）

戦略　「業務の可視化とデータ活用基盤の整備」

施策
- 業務課題と改善対象を明確にするため、業務フローと役割分担を可視化
- 工事情報を正確に蓄積するため、工事日報・進捗・原価情報の入力ルールを統一
- 属人化の解消に向け、主要業務における役割と判断基準を明確化
- 既存システムの活用を定着させるため、操作方法の習得を進め、入力・確認体制を整備

➢ フェーズ2（2028年1月 ～ 2028年12月）

戦略　「業務プロセスの効率化とデジタル化の推進」

施策
- 日報作成と転記作業を効率化するため、紙の日報からデジタル管理へ移行
- 請求業務の負担を軽減するため、蓄積した工事情報を請求業務に活用する仕組みを整備
- 勤怠集計の負担を軽減するため、勤怠管理システムを導入し、勤務時間の入力と集計を効率化
- 現場作業の効率化と施工品質の向上に向け、デジタル技術を活用できる人材育成を推進

➢ フェーズ3（2029年1月 ～ 2029年12月）

戦略　「データに基づく経営判断と継続的な業務改善」

施策
- 工事の採算性を高めるため、原価・進捗・施工実績等のデータを活用した工事別分析を実施
- 工事別分析の結果を、受注の可否や人員配置に関する判断に活用
- 業務改善を継続するため、取り組みの成果を検証し、次の改善につなげる仕組みを構築

❑ DX推進体制

- 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- 全社員がDX推進に参加し、社内一丸となった取り組みを実行します

❑ DX推進目標

- 原価管理システム活用率　　：　100%（～2027年12月）
- 勤怠管理システム導入　　：　完了（～2028年12月）

第四北越銀行